

おひさま ぽかぽか



認定こども園 上西春別幼稚園 平成29年7月1日 発行責任者 住吉幹城

- ・元気いっぱいの子ども
- ・考えて行動する子ども
- ・仲良く遊ぶ子ども
- ・心のやさしい思いやりのある子ども

がんばり抜く気持ち

園長 住吉 幹城

6月の上旬のこと、「やればできる!」。この言葉が思わず口から出てしまいました。場面は子ども達が外で元気よく遊んでいるときのことです。私は畑でジャガイモの畝を作っていました。数人の子が雲梯に挑戦していました。雲梯には手ばしごが10本架かっていました。皆3、4本のところで手を離して落ちてしまうのです。そんな時、頑張って5本6本と増やしては落ち、また挑戦して7本8本と。私は思わず「後1本だよ。頑張れ!」と声を掛けていました。そしてとうとう雲梯を渡りきってしまいました。真っ赤になった手を見せてくれて、初めてできたことをキラキラした笑顔で報告してくれました。それを見ていた友達が、僕もやってみると挑戦しました。思わず「うん、やればできるよ!」と声を掛けました。その子も頑張りました。途中で何度も手が外れそうになるのをぐっとこらえて進み始めました。私も「後3本!」「後2本!」と声を掛け、友達も応援してくれました。この子も初めて渡りきりました。それから何人もの子が挑戦し、初めて雲梯を渡りきることができました。一度できると次からは簡単にできてしまいました。こつを掴んだこともあるでしょうし、自信がついたこともあるのでしょう。大きな壁を乗り越えた感じです。

このとき、子ども達はただがむしゃらに挑戦したわけではありません。友達の頑張る姿に触発され、ゴール(目標)の姿がはっきり見えたことや、あきらめそうになったとき、友達から「後2本」、「もう少しで最後だよ」と声を掛けられたことで、心の中に「後1本」「後2本」とはっきりとしたゴール(目標)が持てたことがやる気を引き出したのだと思います。「もう少しだ」という頑張れば手が届くというゴール(目標)が見えたからこそあきらめずに頑張りができたのだと思います。

この「もう少しの目標」を持って挑戦することの大切さは、これまで幾度となく言われてきたことでした。高すぎる目標はやる前から「やってもムダ、どうせできない」とやる気が起きませんし、逆に低すぎる目標だと「簡単すぎる、つまらない」とこれもやる気になりません。だから「ちょうど良い目標」がやる気を引き出すのだと。しかし「ちょうど良い目標」というのは、言うのは簡単ですが、実際にはとても難しいものです。では、「ちょうど良い目標」とは、雲梯の取組にヒントがありますが、それについては次回。

さて、いよいよ明日は運動会です。頑張ればできる、やればできるの気持ちを持って最後まであきらめず、やりきってほしいと思います。どうぞ皆さんの大きな声援をお願いします。

7月行事予定

日	曜	行 事
1	土	・登園日 ・11:30降園 ・運動会会場設営
2	日	・第42回運動会
3	月	・振替休業日
4	火	・振替休業日
5	水	
6	木	
7	金	・13:00降園
8	土	
9	日	
10	月	・おはよう朝会
11	火	・身体測定①
12	水	・誕生会
13	木	・身体測定② ・納入日
14	金	・お楽しみ会(たけのこ) ・3,4歳児休園
15	土	
16	日	
17	月	・海の日
18	火	・にこびんクラブ②
19	水	・親子大掃除
20	木	・指導主事訪問(2次)
21	金	・13:00降園
22	土	
23	日	
24	月	・1学期終業式
25	火	・夏季休業(～8/20)
26	水	
27	木	
28	金	
29	土	
30	日	
31	月	



★「もう少し!」、友達に声を掛ける子